

美術科学習指導案

学 級 : 2年1組 30人
場 所 : 美 術 室
指導者 : 教諭 相良 典隆

1 題材名 季節を楽しむ心 ～生活を彩る色紙掛けを作ろう～

2 題材の目標

- (1) 自然や季節を感じさせる形や色彩に着目し、造形物の美しさを捉え、材料や用具の特性を生かし、見通しをもって表す。 [知識及び技能]
- (2) 季節感を生活に取り入れてきた日本の美意識を理解し、飾る目的や場所などを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 生活に息づく美術の働きに気付き、季節感を表現して生活に取り入れて楽しむことに関心をもち、意欲的に取り組む。 「学びに向かう力、人間性等」

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 自然や季節を感じさせる形や色彩の効果、四季の自然が織り成す造形、そのよさや美しさなどを基に、造形物の美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。 ② 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。	① 季節感を取り入れた日本の伝統や、飾る場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などの効果を総合的に考え、表現する構想を練っている。 ② 季節感を取り入れた日本の伝統や、飾る場面などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして美意識を高め、郷土や日本の伝統文化や美術に対する見方や感じ方を深めている。	① 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 ② 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 指導と評価の計画

次	時間	学 習 活 動	必要性	自律性	関係性	有用性	評価方法・評価規準
1	1	1 日本人と四季の関わりについて知り、生活の中に四季の美しさを取り入れてきた日本の伝統や美意識について考える。 2 和紙の特性、ちぎり絵の制作方法、掛け軸の役割を確認し、題材について理解する。	◎		○		[知識・技能] ① リフレクションシート、観察 ・ 形や色彩が自然や季節を感じさせる効果や、造形的な特徴などを基に、造形物の美しさを全体のイメージで捉えている。 [思考・判断・表現] ② リフレクションシート、観察 ・ 季節感を取り入れた美しさなどを感じ取り、日本の伝統文化や美術に対する見方や感じ方を深めている。

1	2	3 季節感の表現や飾る場面から主題を設定し、季節を表すモチーフを組み合わせるなどして、色紙と色紙掛けのアイデアスケッチをする。	○	◎	○	○	[思考・判断・表現] ① アイデアスケッチ, 観察 ・ 季節感を取り入れた日本の伝統や飾る場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて構想を練っている。
	3 ~ 5	4 和紙を用いて色紙にちぎり絵を制作する。		○	◎	○	[知識・技能] ② 作品, リフレクションシート, 観察 ・ 材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを考えながら見通しをもって表している。 [主体的に学習に取り組む態度] ① 作品, リフレクションシート, 観察 ・ 意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって表現の活動に取り組んでいる。
2	5	5 色紙とアイデアスケッチを基に、中間鑑賞を行い、主題の表現方法や今後の制作の見通しについて意見交換を行う。		○		◎	[思考・判断・表現] ① アイデアスケッチ, 観察 ・ 季節感を取り入れた日本の伝統や飾る場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせ構想を練っている。 [知識・技能] ②
	6 ・ 7	6 意見交換を基に、既習の知識や技法を生かして、主題をよりよく表現できるよう工夫して色紙掛けを制作する。	◎	○	○	○	作品, リフレクションシート, 観察 ・ 材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって表している。 [主体的に学習に取り組む態度] ① 作品, 観察 ・ 季節感を表す構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練り、表現の活動に取り組んでいる。
3	8	7 お互いの作品を鑑賞し合い、意見交換を通して自他の主題や表現の工夫を味わう。 8 鑑賞しての意見や感想をリフレクションシートに記入する。				◎	[思考・判断・表現] ② リフレクションシート, 観察 ・ 季節感を取り入れた日本の伝統と飾る場面の調和のとれた美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めている。 [主体的に学習に取り組む態度] ② リフレクションシート, 観察 ・ 作者の意図と創造的な工夫などについて考える鑑賞の活動に取り組んでいる。

5 本時の実際（2／8）

(1) 学習目標

- 自然や季節を感じさせる形や色彩に着目し、材料の特性を生かし、見通しをもって表すことができる。 [知識・技能]
- 飾る目的や場所などを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ることができる。 [思考・判断・表現]
- 生活に息づく美術の働きに気付き、季節感を表現して生活に取り入れて楽しむことに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。 「主体的に学習に取り組む態度」

(2) 研究の取組

ア 主題を表現するために見通しをもって表現活動に取り組む授業の工夫

(7) リフレクションシートを活用して、生徒が学習の順序を理解し、表現の見通しを明確にすることで、計画的に取り組むことができるようにする。 [自律性]

イ それぞれの主題を設定し、表現意図に応じた表現方法を工夫できる授業の工夫

(7) 参考作品を提示して題材のねらいを理解させ、主題を設定したり構想を練ったりすることができるようにする。 [必要性]

(4) これまで身に付けた知識や技能を生かし、表現方法を選択しながら自分なりの表現を工夫できるようにする。 [関係性]

(4) リフレクションシートを活用して学習の振り返りをさせ、できたことと新たな気付きを確認させる。 [有用性]

(3) 展開

過程	時間	形態	学習活動	教師の手立て	「自律性」が示す十個の姿
導 入	10 分	一 斉	1 前時を振り返り、日本の美意識について再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現の見通しをもたせるため、リフレクションシート等で前時の学習を振り返り、日本の風土で生まれた美意識について再確認させる。 <p>【研究の視点アー(7)】</p>	<p>私は「振り返る」</p> <p>日本人が四季の風情や趣を大切にしている心は、豊かな自然に囲まれた生活の中で生まれてきたのか。季節感を生活の中に取り入れることで、生活に彩りが生まれそうだな。</p>
		一 斉	2 参考作品を鑑賞し、表現の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材のねらいを理解させるために、参考作品を鑑賞しながら、表現の工夫や実際にどのような場所に飾るかなどについて考えさせる。 <p>【研究の視点イー(7)】</p>	<p>私は「発見する」</p> <p>何でも好きなものを作るのではなく、どんな場所に何のために飾るのかをよく考える必要があるか。</p> <p>飾る場所が変わると、同じ作品でも見る人に与える印象や効果が変わりそうだ。</p> <p>自分ならあの参考作品をどんな場所に飾るだろう。玄関に飾れば、お客さんが来た時、最初に目に入るな。</p> <p>どうすればお客さんが気持ちよく過ごせるかを考えるのが、日本のおもてなしなのかもしれない。</p>

展 開	一 斉	3	本時の目標を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に取り組むため、本時の目標から活動内容を理解させる。 		
			飾る場所や目的から主題を考え、アイデアスケッチをしよう。			
	20 分	個	4	主題を設定し、色紙と色紙掛けのアイデアスケッチを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 表現する主題を設定するために、作品を飾る目的や場所について考えさせる。 設定した主題を表現するために、季節の風物詩や既習の知識・技法を基に構想を練らせる。 <p>【研究の視点イー(イ)】</p>	<p>私は「考える」</p> <p>夏に我が家へ歩いて来られたお客さんは、汗だくでさぞ不快だろうな。ドアに涼しさを感じる作品を飾ると、お客さんも少しは気持ちよく過ごせるかもしれない。</p> <p>私は「計画する」</p> <p>夏でも涼しさを感じさせるモチーフは何だろう。</p> <p>色紙掛けに使う形や色は、飾る場所に適しているかな。</p>
	10 分	班	5	グループ内で鑑賞を行い、色紙掛けのアイデアや飾る場所について意見交換する。	<ul style="list-style-type: none"> 主題にふさわしい表現方法を選択するために、アイデアスケッチを鑑賞し合い意見交換をさせる。 	<p>私は「質問する」</p> <p>私は夏にお客さんを迎える時、涼しさを感じてほしくてこの作品を考えました。皆さんはどんな印象を受けますか。</p>
	5 分	個	6	意見交換を基に、もう一度アイデアを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 主題がよりよく伝わるようにするために、生徒の様子を観察しながら必要に応じてアドバイスをし、制作上のヒントにさせる。 構想を練り直し、必要あればアイデアスケッチに書き足す。 	<p>私は「もがく」</p> <p>私の主題は鑑賞する人にうまく伝わっていないみたい。何が足りないのだろう。</p> <p>私は「発見する」</p> <p>花火は夏らしさがあるが、あまり涼しいというイメージがない。だから、金魚や風鈴をモチーフにしてみてもうどうだろう。</p>

終 末	5 分	個	<p>7 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の気づきをリフレクションシートに記入させ、次時の活動の見通しをもたせる。 <p>【研究の視点イー(り)】</p>	<p>私は「振り返る」</p> <p>夏の風物詩には、暑さだけでなく、涼しさを感じさせるものがあることに気付けた。主題に合うモチーフを組み合わせていくことが大切だ。</p> <p>私は「解決する」</p> <p>意見交換で自分の主題がしっかり伝わっていないことが分かった。ちぎり絵のモチーフを変更したら、主題に近づくことができたぞ。</p> <p>昔の日本人は、季節感を取り入れて日々の生活を彩り、心豊かに過ごしてきた。金魚や風鈴に涼しさや心地よさを感じるのは、そんな日本人の知恵や美意識が伝統として受け継がれているからかもしれない。</p> <p>私は「計画する」</p> <p>次時は和紙で夏の風物詩を作って色紙に貼っていこう。</p>
--------	--------	---	----------------------	--	--